

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談
2. 日時：令和4年6月15日（水）10時00分～11時30分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

岩永企画調査官、星上席研究調査官、木原室長補佐、佐藤室長補佐

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

燃料デブリ取り出しプログラム部 担当者3名

プロジェクトマネジメント室 担当者1名

福島第一原子力発電所 担当者2名（テレビ会議システムによる出席）

日立GEニュークリア・エナジー株式会社

担当者4名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、本年5月31日に実施した面談時に提示を求めた情報のうち、熱中性子束の検出器（B10検出器）の仕様、熱中性子束測定の検証内容等について、資料に基づき、説明があった。
- 原子力規制庁から、当該検出器の技術開発を行った日立GEニュークリア・エナジー株式会社（以下「日立GE」という。）に熱中性子束に係る検出器の技術開発時の状況を確認するとともに、東京電力及び日立GEにおける水中ROV（水中遊泳型装置）による1号機原子炉格納容器内部調査の今後の予定及び調査内容の確認を行った。

6. 資料

- 平成28年度補正予算廃炉・汚染水対策事業費補助金「原子炉格納容器内部詳細調査技術の開発」平成30年度分 成果報告（令和元年7月 技術研究組合国際廃炉研究開発機構）

以上